

青い海と みどり豊かな 平和都市

広報

ずし

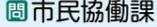


戦後80年

戦争の記憶から
平和を考える

戦後80年 戦争の記憶から 平和を考える

広島・長崎に原子爆弾が投下された8月6日、9日と終戦の日である8月15日には、平和を祈念するため黙とうをお願いします。

1945(昭和20)年に終戦を迎えてから、今年は80年にあたります。当時を知る人も高齢になり、話を聞ける機会は少なくなりました。戦争を経験した市民や専門家の話から当時何があったのかを知り、これからの平和について考えてみませんか。  市民協働課

逗子での戦争の様子

逗子は、隣接する横須賀に旧帝国海軍の本拠地があったことで、その影響を大きく受けました。長年市内の小学校に勤務し、市の歴史を研究する両角さんに、当時の逗子の様子を聞きました。

教育研究
相談センター
両角 篤さん



市内全域に軍事施設が

日中戦争が始まった1937(昭和12)年、海軍は池子地区の買収に着手。土地は弾薬庫として利用されました。細長い谷が山奥へ入り込む地形で、谷沿いにトンネル型の倉庫を造りやすかったためといわれています。1941(昭和16)年には土地の買収が隣接する久木地区へと拡大。最終的に横穴式トンネル倉庫16か所、地上倉庫69か所、計85か所の弾薬倉庫が建設されました。

一方、その土地に暮らしていた人々は立ち退きを余儀なくされました。終戦までに全69世帯が住み慣れた場所を追われ、中には移転先で再び土地を接収された人もいました。

池子弾薬庫では、山に穴を開けて横穴式トンネル倉庫が造られた。地上倉庫を含めると、航空爆弾20万トンを貯蔵できた



日本への空襲が本格化すると、横須賀軍港を米軍の攻撃から守るため、逗子にも砲台が複数設置されました。小坪には沿岸を防備する洞窟砲台が、披露山や二子山にも戦闘機などを狙う高角砲台が造られます。上空を通過する敵機を撃ち落とすため、しばしば砲撃が行われました。また空襲に備えて、軍事施設を安全な場所に移す工場疎開も始まります。横須賀にあった工場や倉庫も逗子の各地へ移転。池子弾薬庫は1945年から海軍航空技術廠補給部池子工場となり、高角砲の推薬や特攻兵器「桜花」「海龍」の噴進器の装てん作業などが行われました。

誰もが戦争のため働いた

逗子は軍の施設で働く人々の住まいとしても利用されました。1942(昭和17)年以降、桜山・沼間・久木には大人数が居住できる寄宿舍が置かれ、ここから逗子や横須賀にある工場などへと通いました。中には最大で約4,000人もの工員が暮らした宿舎もあったそうです。

1944(昭和19)年になると、学徒勤労令により中学生以上の勤労が義務に。逗子の学生に加えて県外から動員された学生も、海軍の軍事施設で働きました。沼間の寄宿舍には東北地方から動員された学生が暮らし、池子弾薬庫や横須賀の軍需工場で火薬の装てん作業などに従事。工場疎開のときには、機械を収める防空ごうを造るため土運び出す重労働も行いました。

1945年には、学校の校舎が工場として使われることも。校庭は、食料増産を目的に一部を残して畑へ転用され、小学生も野菜を育てるなどしました。

今も残る戦争の痕跡



工場疎開のため、動員学徒や朝鮮人労働者によって防空ごうが造られた。神武寺の表参道近くの防空ごうは、戦後になって神武寺トンネルへと整備された



現在、披露山公園の猿舎として使われている、高角砲台の砲座跡



東北地方から動員された女子勤労学徒が収容された、沼間第四寄宿舍の食堂跡

私の記憶



岡本 勇さん(池子) 87歳

忘れられない恐怖や不安、空腹に耐えた少年時代

当時は、神武寺駅近くに住んでいました。空襲警報が鳴り家の近くの防空ごうへ逃げる途中、上空にいた小型戦闘機に機銃掃射されたことが。とっさに木の下に逃げ込みましたが、目の前を木の葉や枝がパラパラと落ちてきた光景が忘れられません。また、とにかく食料がなく、近所の山や川で食べられるものを探しま

した。木の枝で作ったパチンコで鳥を仕留め、焼いて食べたこともあります。戦後、池子弾薬庫で爆発があったときは、通学先の逗子小学校から葉山の神社に避難。「池子は壊滅状態」とうわさを聞き、不安な気持ちで夜を明かしました。今でもあのときの気持ちを思い出し、胸が締め付けられることがあります。

警報も出征も勤労学徒も、何もかも当たり前だった

終戦前は、毎晩のように空襲警報が鳴り、市内上空をB29が通過。迎撃のために日本軍が発射した砲弾が、機体に届かず消え落ちていく光景を何度も目にしました。また出征する近所の人も多く、五霊神社でたびたび行われた壮行会には私も見送りに行きました。

沼間にあった海軍の工員宿舎からは、

毎朝、横須賀の軍需工場へ向かう人たちが列をなして歩いていました。終戦の年は中学校1年生で、現在の第一運動公園にあった海軍の自動車修理工場に学徒動員へ。終戦を告げるラジオ放送は工場で聞きました。すぐに理解できませんでしたが、大人が涙を流して聞いていたことを覚えています。

私の記憶



須田 豊さん(沼間) 92歳

戦争の影響は今も

1945年8月に終戦を迎え、逗子にある軍事施設は連合軍に接収されました。戦後も苦しく混乱した生活が続く中、軍事施設の跡地で被害者を出す事故が発生します。

小坪の洞窟砲台があった場所では、1945年10月に爆発事故が発生し、子ども十数人が亡くなりました。1947（昭和22）年11月には、米軍が管理する池子弾薬庫内で爆発が発生。周辺住民約1,000人に避難命令が出されました。しかし軍は引き続き弾薬庫を使用。完全に使用停止されたのは、1978（昭和53）年になってのことでした。

池子の返還運動は、1954（昭和29）年の逗子市制施行を機に活発化。1970年代になって、第一運動公園と久木中小共同運動場が返還されました。池子の森自然公園は、2015（平成27）年に米軍と日本の共同使用という形で開園。2024（令和6）年には逗葉地域医療センターへの進入路が返還されました。

逗子は、大きな空襲被害こそありませんでしたが、池子の歴史や各地に残る痕跡から、戦争でさまざまな影響を受けたことが分かります。



飯島崎(現逗子マリーナに面する山)の中腹に造られた洞窟砲台の跡地。今は入り口が塞がれ、近付くことができない

今も残る 戦争の痕跡



池子弾薬庫内には物資を運ぶための線路が敷かれ、現在の京急線を通して金沢八景の工場、消防北分署付近にある線路を通して横須賀線へとつながった。池子の森自然公園内には、線路の一部が残っている



疎開した久木の別荘の庭で姉2人と(左が谷山さん)。この庭に防空ごうの代わりとして穴を掘り、いざというときに備えた

私の記憶



谷山 重子さん(逗子) 98歳

東京、逗子、横須賀。さまざまな風景を見つめて

空襲が激しくなってきた中学生時代、都内から久木にあった別荘に家族で疎開しました。横須賀線で都内の学校に通い、皇居のまわりなど、まちの掃除をしていました。逗子近辺は大きな空襲被害はなかったですが、大船駅以降の車窓から見る風景はどこも焼け野原。親には「横浜までに警報が鳴ったら逗子へ戻り、横浜以降なら東京の親戚の家へ向かいなさい」と言われていました。

終戦の1年前頃から都内への通学も危なくなり、勤労学徒として横須賀の海軍基地へ。亡くなった兵士の家族に戦死を伝えるための通知を郵送する、戦死・傷者係に

終戦まで従事しました。つらい仕事でした。逗子駅を使っていたのですが、栄養失調のためか、現在もある東口改札から隣のホームに行くための階段を一気に上り下りできません。何回か休憩を挟みながら渡っていました。

戦後はそのまま逗子に住み、両親が営んでいた都内の写真館再建に家族で励みました。夏は逗子海岸で海の家を借り、浜の写真館を5か所営業したこともあります。戦争で写真が焼けてしまった人が多く、喜ばれました。いつでも誰でも、自分のやりたいことや好きなことが自由にできる、平和な世の中であってほしいと願っています。



前法勝寺住職
前かぐのみ学園理事長
三田村 鳳治さん(沼間) 103歳

戦争体験を聞く① 学徒出陣と戦後の復興

1943（昭和18）年に学徒出陣令が公布され、満20歳に達した学生は徴兵対象となりました。逗子在住で、当時21歳の大学生だった三田村さんも招集され、特攻機の整備を担当。何人もの特攻隊員の出撃を見送りました。戦後は、東逗子駅開業や幼稚園園長としてまちの復興に尽力された三田村さんに、当時の話を聞きました。

特攻は“行くも悲し、送るも悲し” 逗子の学生が見送った多くの命

1943年10月21日、神宮外苑で出陣学徒壮行会が開催されました。「生等もとより生還を期せず(私達は生きて帰るつもりはない)」という学生代表の言葉が、今でも耳に残っています。陸軍に入隊し、東京・立川の航空技術学校で整備技術を学びました。その後、沖縄防衛のため、操縦者と爆弾を乗せた航空機で敵艦に体当たり攻撃を行う特別攻撃＝特攻が本格的に始まります。私は特攻機の整備兵として、1945（昭和20）年3月に宮崎県都城西飛行場へ。しかし、4月末に大規模空襲に見舞われ、生き残った私は鹿児島県知覧飛行場に移動しました。

特攻機の整備では、ガソリンの予備タンクを外して爆弾を取り付けます。特攻隊員は「お世話になりました」と挨拶して出撃。みんな多くは語りませんでしたが、「もう一回、かあちゃんに会いたい」という本音を耳にしたこともあります。飛び立った後「これから突っ込む」という連絡があり、通信が途切れて「ツー」と鳴る。その音が本当に嫌だったし、つらかったです。

多くの戦友が亡くなっていく中、私も命を賭して戦いたいと志願したことがありました。そのとき上官が「死ぬのはいつでもできる。これからの日本をどうするか考えろ」と。あまりに軽くなっていた生の意識を、心ある一言が取り戻してくれました。6月、東京の成増飛行場へ移動。そこで、8月15日の終戦を迎えました。



操縦席に座る出撃前の特攻隊員に、咲いていた桜の枝を手渡し見送ったことも(左が三田村さん)



(上)子どもたちに紙芝居を読む三田村さん。1948（昭和23）年撮影
(下)1952年、開業時の東逗子駅



まちのため、子どものため 戦争がない平和な未来のために

終戦後、淡路島で残務処理に当たり、9月末に2週間かけて逗子へ帰郷。3年ぶりに実家に戻りました。

戦後の逗子は池子弾薬庫なども接収され、まち全体に悲しみが漂い、混乱していました。家族や家を失い防空ごうに身を寄せる人もいて、食べる物がなく奪い合いや犯罪、暴力が増えていました。どうにかしたいと寺の敷地を開放。身寄りのない子どもを引き取り、集まってきた見ず知らずの人たちと助け合って暮らしていた時期もあります。また沼間地区には、線路は通っていても駅がありませんでした。「まちの未来のために新駅を」と奔走し、1952（昭和27）年に東逗子駅が開業しました。

戦争がない平和な未来のためには子どもの教育が大事だと、戦後まもなく寺の一角に、たちばな保育園(現かぐのみ幼稚園)を開園。住職の傍ら園長として子どもたちの成長を見守り、命の大切さを伝えてきました。子どもの輝く未来を守るため、戦争は絶対にしてはいけない。命ある限り、そう伝え続けます。

*三田村さんは「ずし平和デー」オープニングセレモニーに登壇予定。詳細は8ページへ。



逗子市被爆者の会(つばきの会)
宮川 千恵子さん(池子) 91歳

戦争体験を聞く② 被爆体験と平和への願い

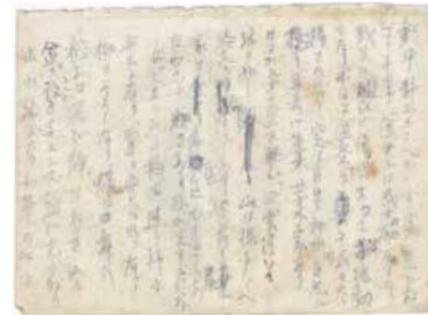
1945(昭和20)年8月6日に広島、8月9日には長崎に原爆が投下されました。犠牲者は同年末までに広島で約14万人、長崎で約7万人とされ、その後も多くの方が被爆による後遺症で亡くなりました。
広島での被爆体験を子どもたちへ語る活動を行う宮川さんに、当時の体験や思いなどを聞きました。

8月6日午前8時15分 世界で初めての原子爆弾投下

小学校5年生だった私は、爆心地から9km離れた村に母と2人で疎開中でした。前日に疎開先へ来ていた父と兄は、6日早朝に広島市へ出発。私は山に木を切りに行く作業日でしたが、膝のけがのため、教室で友達と2人で読書中でした。8時15分、強い光を感じ「何?」と言っているうちにドーンという爆音が響き、窓ガラスが割れて机の上に散乱。静かになってから校庭の防空ごうに逃げ込みました。しばらくして無事だった母が迎えに来て帰宅すると、家の中は爆風でめちゃくちゃな状態でした。

原爆投下時、父は爆心地から2.4kmの己斐(現西広島)駅で乗り換えのため並んでいました。空に3つの落下傘を見付け見上げていて、それが原子爆弾と計器だったため上半身にやけどを負いました。もし、前の電車に乗っていたら爆心地近くで丸焦げでした。兄は爆心地から1.8kmの学徒動員先に向かう途中の道で熱風に飛ばされ、伏せた体の上に建物が崩れて落ちてきました。ちょうど土塀の陰を歩いていたので、4000度ともいわれる熱線は免れ、やけどはしませんでした。父も兄も奇跡的に助かり、重症の人を助け励まし合いながら、その日のうちに母と私がいる疎開先に戻ってくることができました。

翌日から村の学校の教室やお寺、農家の座敷などは、市内から逃げてきた、やけどやけがをした人たちであふれていました。父のやけどもひどく、必死で看病しました。終戦を経て一時的に回復したものの、原爆症で手の施しようもなく、3年後、家族に見守られて亡くなりました。最期、かすかな声で私たちに「泣くな、泣くな」と言ったのが聞き取れました。「強く生きてくれ」ということだったと思います。



原爆投下から数日後、当時の様子を語る父の口述を、母が筆記したもの。「私が85歳になって見つけた、貴重な資料です」

たった一発の爆弾が奪った多くの命 原爆の恐ろしさと悲惨で甚大な被害

広島に投下された原爆は、約600メートル上空で5000～6000度ともいわれる高熱の光を放ってさく裂。その瞬間、60km先まで届いたといわれる強烈な爆風と、大量の放射線が放出され、きのこ雲となって空高く突き上がりました。きのこ雲の下で奇跡的に助かった人もひどいけがを負い、火に追われ、水を求めて逃げた先の川は死体でいっぱいになりました。原爆投下時、建物疎開の作業を担っていた中学校1・2年生男子や女学生、主婦の多くが焼き殺され、その子どもや親を探しに行った人も高い放射能のため亡くなりました。大量の遺体は軍隊が方々に穴を掘って埋めたり、救援隊が火葬したりしました。

また、自分の命が助かったために、今もなお犠牲者やその遺族に申し訳ない気持ちを抱く人も少なくありません。私の夫の家族や兄の妻も、そのような被爆者です。

原爆は広範囲に、しかも一瞬にして、熱線と爆風、放射能で多くの命を奪いました。核兵器の残酷さは、写真や言葉だけでは説明できません。逗子市被爆者の会が発行した『被爆証言集』は、被爆者が当時の体験を懸命につづった貴重な証言集です。多くの人に読んでいただき、原爆の恐ろしさを知ってもらいたいです。



『被爆証言集』の表紙。市ホームページから閲覧できる
ID1002440



後世の人に託したい 核兵器廃絶と平和への道のり

1988(昭和63)年に逗子市被爆者の会(つばきの会)が結成され、被爆者同士、自分の体験を話し、悲しみを理解し合える場として集まりました。また、原爆を知ってもらうため、証言集の作成や講演会・展示会の開催、ピースメッセンジャーを広島・長崎へ案内。14年前から始まったずし平和デーでは、「原爆と人間展」を毎年開催しています。被爆者は年々亡くなり、私は2014(平成26)年から市内小・中学校での証言活動を引き継ぎました。

昨年末、日本原水爆被害者団体協議会にノーベル平和賞が授与されましたが、既に亡くなった方たちの平和活動の尽力があったからこそ。私たち被爆者の願いは核兵器廃絶、そして世界平和です。現在も争いが絶えませんが、絶対に戦争はしないでください。人間の命の大切さを考え、行動につなげることを心から願っています。



(上)市内小・中学校で、宮川さんの話を真剣に聞き入る子どもたち(下)「原爆と人間展」では、被爆者が当時の様子を描いた絵を展示。宮川さんの話を聞いた子どもたちの、核兵器・戦争反対の思いをつづった感想文も展示される

平和を 学び伝える メッセンジャー

1991年から2017年まで、ピースメッセンジャー派遣事業が行われました。次代を担う若い世代が「核兵器の恐ろしさ」「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」について考え、学び伝える目的で実施。26年間で計502人の中学校2年生を沖縄・広島・長崎へ派遣しました。



広島では広島平和記念資料館などを訪れ、千羽鶴を原爆の子の像に献納した

平和をつなぐワークショップ

ピースメッセンジャーの経験者と共に、「平和をつなぐ」ことを考えるワークショップを開催します。詳細は市ホームページで確認してください。

時 8月11日(月祝)10:00～12:00 場 文化プラザホール 対 小学校5～6年生、中学校1～2年生
申 8月4日までに市民協働課へ ID1012835

interview

今も忘れない被爆証言 平和を共に考えたい

ピースメッセンジャー
(2007年派遣)
三浦 正明さん(沼間)



長崎に派遣され、被爆遺構が残る小学校などを巡りました。今の暮らしでは考えられないような出来事が現実にあったのだと、遺構を見て衝撃を受けたのを覚えています。被爆者の方からもお話を聞きました。同年代の子どもたちが犠牲になった話を聞いて、原爆や戦争の残酷さと平和の大切さを強く実感しました。

日々の生活の中で、平和について意識することは少ないかもしれませんが。けれど家や学校、職場の平和は誰もが望むものです。今回行うワークショップが、戦争や平和を自分事として考え、実際に動くきっかけになれば。小さな行動の積み重ねが、世界の平和にもつながると信じています。



次世代に伝えたい 平和のメッセージ 2025 ずし平和デー

戦争の悲惨さや平和の大切さ、いのちの尊さを伝えます。

共通 詳細は市ホームページを確認してください。

場がないものは文化プラザホール

問 ずし平和デー実行委員会

村井 TEL 046-872-2406

ID 1012838



オープニングセレモニー ～つなごう 平和のバトン～

登壇 三田村鳳治さん、福島富子さん 他

合唱や、アニメ映画「ながさきの子うま」の上映も行います。

時 8月7日(木)13:00～16:15(開場12:30)

問 親子映画会実行委員会 国澤 TEL 090-2736-6873

「原爆と人間展」

～ヒロシマ・ナガサキの惨禍をくり返さないために～

原爆に関するパネル展示、市内小学校6年生被爆証言授業の感想文、証言集・関連書籍の紹介

時 8月7日(木)～11日(月祝)9:00～17:00

*7日は13:00～、11日は16:30まで

問 逗子市被爆者の会 藤原 TEL 080-5657-2420

たまさんのピースフル☆ダンボール

ダンボールアートの空間、子どもの社交場「スナック平和」で交流しよう。ダンボール紙芝居や手品あり。

時 8月8日(金)10:00～11:45

問 ASOBIJUTSU 田中 TEL 090-9239-3452



子どもとおとなの「えほんの読み語り公演」

逗子や鎌倉の作家の絵本を読み語りします。

時 8月8日(金)14:00～16:00(開場13:45)

費 前売り1,000円、当日1,200円、大学生以下500円

問 NPO法人ずしあそび発信基地 潮村

TEL 090-8117-5989

朗読の会ふうりん 夏休み朗読公演2025

斎藤隆介作「鬼の嫁」、井上ひさし作「少年口伝隊一九四五」

時 8月9日(土)13:30～15:30(開場13:00)

費 前売り800円、当日1,000円 *中学生以下無料

問 朗読の会ふうりん 田中 TEL 090-6105-3226

ラブ&ピースコンサート「サークル・オブ・ライフ」

ゲスト 原田真二さん(シンガーソングライター)、

西村あきこさん(ゴスペルシンガー)

時 8月10日(日)13:00～18:00(開場12:45)

費 前売り1,500円、当日1,700円、小学生～高校生500円 *未就学児無料

問 Love & Smile for Peace 安藤

TEL 050-7119-5205



被爆者のことば せかいにとどけ!

朗読「ひろしまのピカ」&被爆者の証言を聞く会

時 8月11日(月祝)14:00～16:00(開場13:30)

費 前売り800円、当日1,000円 *高校生以下無料

問 逗子・葉山九条の会 富塚 TEL 046-878-6044

歴史遺産見学「池子の森の歴史と平和」

池子の森の歴史遺産を巡ります。 *要事前申し込み

時 8月12日(火)9:00～11:00 場 池子の森自然公園

対 小学校5年生以上 定 先着20人

問 池子の森を考えるみどりの会 大田原

TEL 090-1124-5910

8月の くらしの ガイド

時日時 場所 対象 定員 持ち物 費用 申込方法、申込先 問い合わせ先 [TEL](#) 電話 [FAX](#) ファクス [MAIL](#) Eメール [URL](#) ホームページアドレス [ID](#) ホームページ番号 [行政ポイント](#) 対象 *費用の表示のないものは全て無料。

休日夜間診療

逗葉地域医療センター

内科・小児科・外科 [TEL](#)046-873-7752 10:00~17:00・20:00~23:00

歯科 [TEL](#)046-873-2368 10:00~17:00

上記の時間以外・その他の診療科目

消防署テレフォンサービス [TEL](#)046-872-9999

防災行政無線が聞こえないとき

[TEL](#)050-5533-8199

主な施設の電話番号・休館日

市役所	TEL 046-873-1111 FAX 046-873-4520
環境クリーンセンター	TEL 046-871-7870 FAX 046-873-9428
消防署 年中無休	TEL 046-871-0119
図書館 毎週火休館	TEL 046-871-5998
図書館沼間分室 毎週火休館	TEL 046-872-3618
図書館小坪分室 毎週火休館	TEL 0467-24-6726
市民交流センター 第1・3火休館	TEL 046-872-3001 FAX 046-872-3003
沼間小学校区コミュニティセンター 毎週火休館	TEL 046-872-2449
小坪小学校区コミュニティセンター 毎週火休館	TEL 0467-24-6204
文化プラザホール 第1・3火休館	TEL 046-870-6622
逗子アリーナ・スポーツ協会 毎週月休館	TEL 046-870-1296

池子の森自然公園管理事務所 毎週月休館	TEL 046-871-7022
池子遺跡群資料館 毎週月休館	TEL 046-871-7006
体験学習施設 毎週火休館	TEL 046-873-8581
福祉会館・社会福祉協議会	TEL 046-873-8011
保健センター	TEL 046-873-8333
高齢者センター	TEL 046-873-2531
子育て支援センター (休館日は23ページ)	TEL FAX 046-871-5001
ずしファミリーサポートセンター	TEL 046-870-3400
こども発達支援センター	TEL 046-872-6051
教育研究相談センター	TEL 046-872-2898
逗子警察署 年中無休	TEL 046-871-0110
商工会館・逗子市商工会	TEL 046-873-2774

*休館日の表示がない施設は(出)・(日)・(祝)休館。休館日が祝日に当たる場合は、各施設にお問い合わせください。

相談案内

消費生活相談

(月)火(木)金9:30~12:00・13:00~16:00 [問](#) 市消費生活センター(市民協働課内)

(月)~(金)9:30~17:00・(出)9:30~16:30 [問](#) かながわ中央消費生活センター [TEL](#)045-311-0999

人権相談 (月)~(金)8:30~17:15

[問](#) 横浜地方法務局横須賀支局 [TEL](#)046-825-6511

女性相談 (月)~(金)9:30~12:00・13:30~16:00

女性相談専用 [TEL](#)046-873-5531

行政書士相談(遺言・相続・空き家など)(予約制)

第1・3火9:00~16:00(1人1時間)

行政相談(国への要望)(予約制) 第1火13:00~15:00

法律相談(予約制) 第2・4火10:00~16:30

不動産の登記・測量相談(予約制) 第2月14:00~16:00

マンション管理相談(予約制) 第3月14:00~16:00

不動産相談(予約制) 第4月14:00~16:00

司法書士相談(相続登記など)(予約制) 第4火13:00~16:00

[問](#) 市民協働課

まちづくり条例開発事業紛争相談(予約制)

奇数月の第3火9:00~12:00

[問](#) まちづくり景観課

成年後見相談(予約制) 第2火10:00~16:00

[問](#) 高齢介護課

成年後見相談(予約制) 第4火14:00~16:00

法律相談(障がい者・高齢者に関して)(予約制)

第4金14:00~16:00

[問](#) 逗子あんしんセンター [TEL](#)046-871-8458

障がいに関する相談(障がい福祉サービスなど、面接は予約制)

主に身体障がい・知的障がい (月)~(金)9:00~17:45

[問](#) 支援センター 尻 [TEL](#)046-870-5280 [FAX](#)046-873-5370

主に精神障がい 面接相談(予約制)(月)~(金)10:00~16:00 電話相談(月)~(金)9:00~17:00

[問](#) カモメール [TEL](#)046-872-4581 [FAX](#)046-872-4550

家庭・児童相談(子どもに関する一般相談)

(月)~(金)8:30~12:00・13:00~17:00

[問](#) 子ども相談室 [TEL](#) [FAX](#)046-871-8801

療育相談(心身の発達など、面接相談は予約制)

電話相談(月)~(金)9:30~16:30(面接相談予約受付~17:00)

[問](#) こども発達支援センター [TEL](#)046-872-2523(直通)

教育相談 (月)~(金)9:00~16:00

[問](#) 教育研究相談センター
教育相談専用 [TEL](#)046-872-9498・2898

インフォメーション

*問い合わせ先の電話番号は9ページ参照。

市長市政相談

時 8月20日(水)14:00~16:20(1組20分)

*オンライン可 定 先着5組

申 8月1日~7日17:00に企画課窓

口へ ID1006308

企業版ふるさと納税の寄付金

2024年度に、日本テレビ放送網(株)(東京都港区東新橋1-6-1)から寄付をいただきました。

寄付の使い道と寄付額

温室効果ガス削減事業の推進200万円 *2024年度三浦半島ブルーカーボン推進会議での自治体間相互連携の取り組みへの賛同を機に受領

企画課



池子米軍住宅地区防災無線の試験放送

実際の災害ではありません。毎月第3(水)9:00頃に実施します。

時 8月20日(水)9:00頃

課 基地対策課 ID1005674

防災行政無線等による全国一斉情報伝達試験(J-ALERT)

サイレン音は鳴らしません。

時 8月20日(水)11:00頃

課 防災安全課 ID1001567

市民説明会 アナログ規制の見直しによる関係条例の整備

市役所で行う手続きなどのデジタル化を可能とするために必要な条例改正について説明します。

時 9月6日(土)14:00~16:00

課 市役所会議室

課 総務課 ID1012974

市民税・県民税・森林環境税第2期の納期限は9月1日

支払いは、便利で確実な口座振替をご利用してください。

課 納税課 ID1001818

市民説明会 文化プラザホール利用料金の改定

時 8月9日(土)10:00~11:00

場 市役所会議室

課 文化スポーツ課 ID1013046

海上保安大学校学生採用試験

試験日、応募資格などは問い合わせてください。

受付期間 8月21日~9月8日

課 第三管区海上保安本部

TEL045-211-0781

URLhttp://www.kaiho.mlit.go.jp/

従業員に安心して退職金を

中小企業退職金共済制度は、中小企業の退職金を国がサポートする制度です。掛け金は全額非課税で、掛け金の一部を国が助成します。パートタイムの人も対象です。

課 中小企業退職金共済事業本部

TEL03-6907-1234

逗子海水浴場の試行的取り組み

風紀を維持しつつ海水浴場の魅力を高める取り組みを実施・検証します。

海の家の閉店時間変更

試行期間 8月1日(金)~17日(日)

閉店時間 21:00 *通常は20:00

条件付きイベントの実施

どのようなイベントがファミリービーチとしてふさわしいかを検証します。

課 経済観光課 ID1012757

手話奉仕員養成講座(基礎課程)

聞こえないことや聴覚障がい者への理解・認識を深め、地域のろう者と手話で日常会話が可能になることを目指す講座です。

時 9月3日~3月11日(水)9:30~11:30(全22回) 場 葉山町役場

対 入門課程修了者、同程度の学習者 *再受講可

定 20人 *逗子市・葉山町の在住・在勤者、初受講者優先 *多数抽選

費 6,050円

申 8月20日までに、電話・ファクス・Eメールで、障がい福祉課へ

MAILshuwa@city.zushi.lg.jp

ID1004264

ふれあいフェスinずし 参加者・参加団体募集

楽しく障がいを知り、学ぶイベントです。障がい疑似体験、展示、ステージ発表、ワークショップなどの参加者・参加団体を募集します。

開催日時 12月6日(土)10:00~14:00

開催場所 逗子アリーナ

対 障がいに関する活動の実績・予定がある個人や団体

申 8月29日までに、障がい福祉課へ ID1013006

市営プールの障がい者割引

市営プール利用券(障がい福祉課窓口で交付)、各種障害者手帳、ミラIDのいずれかをプール受付窓口で提示すると、無料で利用できます。対象施設 市民交流センター屋内温水プール(通年)、第一運動公園プール、小坪飯島公園プール

対 市内在住で、身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を持っている人とその介護者1人

課 障がい福祉課

ID1004246

時日時 場場所 対 対象 定 定員 持 持ち物 費 費用 申 申込方法、申込先 問 問い合わせ先 TEL 電話 FAX ファクス MAIL Eメール URL ホームページアドレス ID ホームページ番号 行政ポイント対象 *費用の表示のないものは全て無料。

食中毒に気を付けて

高温多湿の気候が続く夏は、食中毒の発生が増える傾向があります。手洗いを十分に行う、食品は購入後なるべく早く冷蔵庫や冷凍庫に入れる、十分に加熱するなど、気を付けてください。

課 県鎌倉保健福祉事務所

TEL0467-24-3900



長寿動物の表彰

時 10月5日(日)

場 鎌倉生涯学習センター

対 2025年中に15歳になる犬・猫

申 8月5日までに、湘南獣医師会会員の動物病院へ

課 かまくら犬と猫の病院

TEL0467-22-4976

高額な医療費の限度額適用

病院窓口での自己負担額が高額になると、マイナ保険証(健康保険証利用登録済マイナンバーカード)を利用すると、限度額までの支払いとなります。マイナ保険証を使わない場合、1か月の自己負担額が限度額までになる認定証の交付申請をしてください。

対 国民健康保険に加入していて、保険料を滞納していない人 *70歳以上の人は、所得区分が課税所得145万円以上690万円未満の人、非課税世帯の人

課 国保健康課 ID1001944

説明会 三浦半島中央道路に関する都市計画変更

時 9月4日(水)19:00~20:30、7日(日)10:00~11:30

場 市役所会議室

課 環境都市課 *手話通訳・要約筆

記は8月22日までに申し込み

ID1013080

蘆花記念公園の再整備・運営に関する市内事業者向け説明会

官民連携の基本的な仕組みや事例、事業者の関わり方を紹介します。

時 8月20日(水)15:30~17:30

場 市民交流センター

対 市内事業者 定 30人

申 問 緑政課 MAILryokusei@city.zushi.lg.jp ID1013049

地籍調査の実施

道路や水路などに接する民有地との境界を明確にするため、地籍調査(街区境界調査)を行います。立ち会いが必要な土地所有者には、調査の際に通知します。ご協力をお願いします。

対象地域 桜山8丁目の一部

課 都市整備課 ID1012814

道路や水路との境界確定

市が管理する道路や水路などとの境界を確定させたい場合には、境界確定申請が必要です(費用は申請者が負担)。確定には日数がかかります。余裕をもって申請してください。

課 都市整備課 ID1002332

狭あい道路拡幅整備事業に協力を

幅4m未満の狭あい道路は、消防車・救急車などの緊急車両の通行や災害時の避難が困難です。4m幅への道の拡幅に協力をお願いします。

拡幅部分を市に寄付する場合、測量・舗装を市が行い、後退部分にある塀や生け垣などの撤去費用の一部を負担します。また、事業者などが後退部分の測量、分筆、寄付や整備を行った場合にも補助金を交付します。

課 都市整備課 ID1002329

8月は道路ふれあい月間 8月10日は道の日

道路はみんなのものです。生け垣や木の枝をはみ出させない、不法投棄・商品陳列・車両放置をしないなど、正しく道路を利用しましょう。また、道路や側溝の清掃にご協力ください。

課 都市整備課

ひとり親家庭への支援

児童扶養手当

手当額は受給者の所得額・子どもの数により異なります。

ひとり親家庭等医療費助成

ひとり親家庭の親子が、けがや病気などで医療機関を受診したとき、保険診療の自己負担分を市が助成します。

ひとり親家庭等福祉手当

月6,000円の手当を支給します。ファミリー・サポート・センター利用料の助成

ずしファミリー・サポート・センター利用料の半額(上限1か月1万円)を助成します。

自立を支援するサービス

資格取得など自立を支援するためのさまざまなサービスがあります。

*各支援制度には所得などの制限があります。

課 子育て支援課

ID1002724

特別児童扶養手当について

障がいのある子どもを扶養している家庭では、特別児童扶養手当を受給できる場合があります。また、現在特別児童扶養手当の受給権がある家庭は、9月11日までに所得状況届の提出が必要です。詳細は、市ホームページで確認してください。

課 子育て支援課

ID1002626

市公式アカウントなど



LINE



X



facebook



市ホームページ

傍聴



国民健康保険運営協議会

時 8月4日(月)14:00~16:00

場 市役所会議室

関 国保健康課

市民参加制度審査会

時 8月29日(金)10:00~12:00

場 市役所会議室 関 市民協働課

教育委員会 定例会

時 未定 場 市役所会議室

関 教育総務課

*時間・場所が未定の会議、その他の会議は市ホームページ「イベントカレンダー」で確認してください。

市の求人 7月10日現在の募集状況です。 1006773

●任期付職員

職種	勤務時間(週)	初任給※	申関
保育士(休業代替)	5日(38時間45分)	252,672円	教育総務課

*学歴、年齢、職歴などの一定基準により加減あり。その他諸手当あり。

●会計年度任用職員

職種	勤務時間(週)	報酬月額	申関
ふれあい スクール	サブ	3日(17時間30分)	103,386円
	プレイ	4日(15時間)	81,507円
保育士	4日(31時間)	183,142円	教育総務課
保健師 (こども発達支援センター)	2日(15時間)	88,617円	

●障がい者トライアル雇用 1004282

会計年度任用職員(短期間任用)として採用し、就労支援員のサポートのもとで業務を行います。



任用期間・勤務時間

①10月16日~29日9:30~14:30(休憩あり)

②11月10日~21日13:00~17:00(休憩なし)

時給 1,336円

募集人数 各1人

応募資格 市内在住の精神障がい・知的障がいがある人で、よこすか障害者就業・生活支援センターに登録を済ませている(予定を含む)か、相談支援事業所の支援を受け一般就労を目指している人

申関 事前連絡の上、8月22日までに所定の用紙(障がい福祉課で配布、市ホームページからも入手可)に記入し、本人持参で障がい福祉課へ *後日、面接試験を実施します。

イベントナビ

*問い合わせ先の電話番号は9ページ参照。

スポーツ



うみかぜクラブ アブストレッチング

時 8月1・8・22・29日の(金)10:00~10:50

費 非会員500円 申 当日会場へ

場 関 逗子アリーナ

フィットネス教室 筋力アップ&チェアストレッチ

時 8月1・8・22・29日の(金)①12:45~13:45②14:15~15:15

対 55歳以上 定 各先着30人

費 1回500円(回数券10枚4,000円)

申 当日会場へ

場 関 逗子アリーナ

文化・教養



図書館展示 生きものバンザイ!

時 8月13日(水)~9月8日(月)

場 関 図書館

河口の生き物観察会 森・川とつながる海

講師 萩原清司さん

時 8月24日(日)9:15~11:30 *雨天中止 場 田越川河口(渚橋下集合)

定 先着30人 *市内在住者優先、10歳以下は保護者同伴

費 小学生以上500円、未就学児無料

申 関 8月1日~15日に、参加者全員の①住所②氏名③電話番号④子どもの年齢を、Eメールで、ずしし環境会議まちなみと緑の創造部会へ

MAIL machi73zusi@gmail.com



60年代半ばのビートルズを聴こう

講師 ロンリー・ウォンバットさん (60~70年代ロック研究者・ずしし市民講師)

時 8月30日(土)15:00~17:30

対 中学生以上

定 先着20人

場 申 関 8月4日9:00以降、①氏名(カタカナ)②電話番号・メールアドレスを、電話・ファクス・Eメールで、または市民交流センター窓口へ

MAIL ac-center@zushi-psc.org

*託児・手話通訳・要約筆記は、8月20日までに申し込み

その他



東逗子朝市

時 8月3日(日)8:00~10:00 *荒天中止

場 東逗子駅前ふれあい広場

関 逗子市商工会

△逗子海岸一斉清掃

時 8月3日(日)13:00~ *荒天中止

場 逗子海岸西浜

関 逗子ビーチ・クリーン隊 小林

TEL 046-872-1550

ZASA Sports Games

共通 関 逗子アリーナ

対象や費用、申込方法などの詳細は、スポーツ協会ホームページで確認ください。



市民アーチェリー大会

時 9月14日(日)9:00~16:00 *予備日28日(日)

場 第一運動公園弓道場

対 市内在住・在勤・在学者

申 9月13日まで

市民テニス大会

時 ①男女ダブルス 9月14日(日)9:00~17:00

②ミックスダブルス・ジュニア男女ダブルス9月21日

(日)9:00~17:00 *①②ともに予備日23日(火祝)

場 第一運動公園テニスコート 申 9月6日12:00まで

市民卓球大会

時 9月14日(日)9:00~18:00

場 逗子アリーナ

対 市内在住・在勤・在学者、協会登録者

申 8月29日まで

市民バドミントン大会

時 ①中学生の部9月15日(月祝)8:30~18:30

②一般の部9月28日(日)8:30~18:30

場 逗子アリーナ

申 ①は9月5日17:00、②は9月19日17:00まで

みんなの広場

みんなの広場は営利・宗教・政治を目的としない市内の団体に紙面を提供するもので文責は各団体にあります。編集の都合上掲載できない場合もあります。10月号掲載申し込みは8月20日17:00までに郵送・ファクス・ホームページで、または直接窓口へ 問企画課

コーラス^に榆

一緒にコーラスを楽しみましょう。
年に1回、発表会あり 時毎月第2・4(火)9:45～11:45 場さざなみホール 費月3,500円 申問コーラス榆山崎 TEL046-873-9159

逗子少年サッカークラブ^に団員募集

体験随時 時毎週(土)9:00～12:00
または13:00～17:00 場池子小グラウンド 対5歳～小学生 費月1,200円、未就学児無料 問逗子少年サッカークラブ 田中 TEL070-1344-0711

ガルデさんのドイツ語会話

初級ドイツ語会話を勉強しよう 時8月1・15日、9月5・19日の(金)10:00～11:30 場市民交流センター 費月3,000円 問ドイツ語会話同好会 須永 TEL046-871-3237

地球に愛の手を 磯焼け対策

一緒に磯焼けについて考えよう 時8月9日(土)10:00～13:00 場逗子海岸ロードオアシス集合 持ウニを採捕するためのマリンブーツやバケツ 問735style 比野 TEL090-9561-8309

逗子将棋の会 無料 観る将歓迎

大人子ども、みんなで気軽に指しませんか 時8月17日(日)12:00～15:00 場市民交流センター 問同会 西畑 TEL050-3597-8506 URLhttps://www.facebook.com/zushi.shogi

逗子ふれあいフリーマーケット

出店者募集中 時8月29日、9月26日の(金)8:00～14:30 翌30日、27日の(土)7:30～14:30 骨董市開催 雨天中止 場亀岡八幡宮境内 問同フリーマーケット 片岡 TEL090-5442-3778

第42回定期演奏会

管弦楽の演奏会。チャイコフスキー『交響曲第四番』より第一・四楽章ほか 時8月31日(日) 場鎌倉芸術館大ホール 定1,300人 問鎌倉ジュニアオーケストラ 辻 TEL080-5512-6137

みんなで歌うオールディーズ

虹の彼方に、慕情、恋に落ちたとき 時9月2・16日の(火)13:30～15:30 場結YUIコミュニティホール 費1,000円 申問みんなで歌うオールディーズの会 七海 TEL090-4385-6529

遠くから継続する支援 東北物産展

時9月10日(水)・12日(金)・22日(月)・24日(水)10:00～15:30 *8月お休み 場市民交流センター 問シェアハート鎌倉 平野 TEL090-6507-3052

誰かの不得意を、誰かの得意で解決 逗子会館でコワーキング

複数の方が同じ場所を共有して仕事を行う、コワーキングスペースを開設します。費用など詳細はホームページで確認してください。

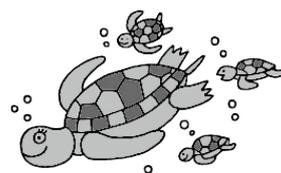
プレオープン 8月6日(水)～29日(金)の平日

*無料、来場時の利用登録で特典あり

オープン日 9月1日(月)

場逗子会館(逗子5-4-33)

問逗子市商工会



HP連携で簡単検索

各記事に記載している「ID(ホームページ番号)」の数字を、市ホームページの「ページ番号検索」に入力すると、簡単に目的のページを表示することができます。



ページ番号検索

1000038

表示

頑張る未来の経営者を応援 逗子創業スクール

経営、財務、販路開拓などの具体的なノウハウを学び、起業や独立を目指してみませんか。受講すると、さまざまな創業支援が受けられます。

受講者との交流やつながりが持てたこともメリットの一つと話す。「さまざまなジャンルの人が受講していて、情報交換など活発な交流を通じて良い刺激をもらえました。今もお店やイベント出店時に来てくれる人がいて、励みになっています」

現在、体験学習施設の「カフェちよこつ」で営業する浅尾さん。「カフェちよこつとの運営を商工会が担うこととなり、出店募集に手を挙げました。さらに、商工会には補助金申請など日頃から相談に乗ってもらっています。駄目なところはしっかり指摘してもらえる心強い味方です」。今後は、カフェの営業を続けながらノウハウを溜め、自分のお店オープンを目指したいと話す。

「創業スクールでは、起業について詳しく学べたことに加え、商工会や市、仲間とのつながりを深められました。受講が前提の補助金申請や相談など、受講後も親身に対応してもらえる。自分にとってプラスになることばかりで、受講して良かったです」



2024年受講生

カフェレストラン
浅尾大輔さん

出会いと学び、受講後のつながりとサポート スクールで得た全てのことが自分のプラスに

いつか飲食店をやりたいと考えていた浅尾さん。とにかく始めてみよう、と、逗子市商工会のキッチンカーを3か月間レンタルし市内で営業した。「お客様に良くしていただき、逗子にお店を持ちたいと強く思うようになりました。そこで、逗子創業スクールを受講しました」と話す。

浅尾さんは以前、他県で開業を目指し、そこで創業スクールを受講した経験がある。「そのときに比べ、逗子創業スクールは講師の先生の教え方が丁寧で分かりやすかったです。メニューの書き方一つにしても具体的で、現在もお店で活用しています。授業後に不明点などを気軽に質問できる雰囲気も良かったです」と振り返る。また、



逗子創業スクール

受講生募集

第1回 8月22日(金)

創業準備 経営資源の準備と創業マインド

第2回 9月5日(金)

創業に向けてのマーケティング戦略、先輩创业者による座談会

第3回 9月12日(金)

お金の分析とビジネスモデルへの反映、
創業するための融資や支援制度について

第4回 9月26日(金)

人材確保と育成、ビジネスプラン発表会

時 19:00～21:00

場 市役所会議室

定 先着50人

費 4,000円

申 問 申込フォームで、または逗子市商
工会、経済観光課窓口へ

☎1004878



くらしのガイド ズームアップ

時日時 場場所 対対象 定定員 持持ち物 費費用(表示
のないものは無料) 申申込み方法、申込先 問問い合わせ先
TEL)電話 FAX)ファクス MAIL)Eメール URL)ホームページアド
レス ID)ホームページ番号 行政ポイント対象

くらしのガイド ズームアップ

講座

学校づくりと地域づくり 困難と希望を考える

子どもの学びと成長を支えるために、地域と学校が連携・協働してできることを考えます。

講師 池谷美衣子さん(東海大学准教授)

時 8月22日(金)13:30~15:30

場 久木中学校

対 市内在住・在勤者、逗子市立小・中学校の在学者とその保護者、教職員 定 先着30人程度

申 8月1日 8:30以降、①住所②氏名③電話番号を、電話・ファクス・Eメールで社会教育課へ

FAX)046-872-3115

MAIL)syakaikyoiuku@city.zushi.lg.jp

ID)1012979



募集

地域交通の未来を考える 公共交通ワークショップ

日常の移動に関する困り事や解決策について、グループワークを通じて意見交換を行います。地域公共交通が抱える課題や可能性を議論し、より良い交通のあり方を共に考えませんか。

時 9月7日(日)15:00~17:00

場 市役所会議室 定 先着30人

申 8月1日~22日に、①住所②氏名③電話番号・メールアドレスを、申込フォームで、環境都市課へ

* 託児・手話通訳・要約筆記を希望する場合は申込時にお知らせください

* 電話・ファクスでも申し込み可

ID)1013028



募集

地域のヒーローに 消防団員募集

消防団は、消防組織法に基づき市町村に設置されている消防機関です。地域の安全・安心を守る消防団員に、あなたもなってみませんか。

入団資格 18歳以上の市内在住・在勤者

報酬 年額36,500円(団員)、災害出動1日につき8,000円、警戒・訓練など1日につき3,500円を特別支給

*公務災害補償・被服貸

与・退職報奨金あり

申 消防総務課

TEL)046-871-4325

ID)1001699



住民協だより 池子

2025年度、新たな部会として「おもちゃクリニック」を立ち上げました。患者さんは、おもちゃのレジスターやオルゴール時計など。自称「やぶ医者」たちが、かんかんがくがく個性むき出しで取り組み、手術は無事終わりました。

「おもちゃクリニック」は、いけごやまとしょじつ1階コミュニティルームで、毎月最終土曜日午前中に開院しています。壊れてしまったおもちゃを片手に、ゆかいなドクターたちに会いにきませんか。

(池子小学校住民自治協議会 会長 齋藤由佳)



お知らせ

悪質な投棄が発生 不法投棄されない環境を

不法投棄の行為者が特定できないときは、その土地の所有者・管理者がゴミを処理しなければなりません。草木の手入れやフェンスを設置するなど、不法投棄されにくい環境を作りましょう。

資源循環課 ID)1002112

不法投棄されたゴミを発見したら
公有地の場合、土地の用途によって管理者が異なります。管理者が不明な場合は資源循環課に連絡してください。

不法投棄を目撃したら

行為者の特徴などを、逗子警察署または資源循環課に通報してください。危険なので、注意などの接触は控えましょう。



お知らせ

生ごみ分別収集・資源化 開始時期の延期について

生ごみの分別収集・資源化は、当初予定していた2025年3月から開始時期を延期しています。これは、処理委託先である葉山町の生ごみ資源化処理施設の工期の延長に伴い、工事費の総額が定まっておらず、逗子市と葉山町との間で費用負担などについて確定できないためです。引き続き、葉山町への状況の確認と協議を進めていきます。

生ごみの分別収集の開始時期が決まり次第、市ホームページなどでお知らせするとともに、各地域での市民説明会を再開します。

資源循環課

ID)1002133



広報ずしでは誌面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくは企画課へお問い合わせください。

広報ずしでは誌面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくは企画課へお問い合わせください。

広報ずしでは誌面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくは企画課へお問い合わせください。

広報ずしでは誌面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくは企画課へお問い合わせください。

広
告

くらしのガイド **ズームアップ**

時日時 場場所 対対象 定定員 持持ち物 費費用(表示のないものは無料) 申申込み方法、申込先 問問い合わせ先 TEL 電話 FAX ファクス MAIL Eメール URL ホームページアドレス ID ホームページ番号 行政ポイント対象

講座

近代美術館入門講座 写真史における上田義彦

写真家・上田義彦の活動を振り返り、その写真表現をさまざまな写真との比較からひもときます。

講師 高嶋雄一郎さん(県立近代美術館 葉山)

時 9月10日(水)10:00～11:15

場 市役所会議室 定 先着20人程度

申 8月12日以降、①住所②氏名③

電話番号を、電話・ファクス・Eメールで、または社会教育課窓口へ

FAX 046-872-3115

MAIL syakaikyoku@city.zushi.lg.jp

*手話通訳・要約筆記は8月29日までに申し込み

ID 1012819



上田義彦
《Quinault No.1・Washington》
1990年
© Yoshihiko Ueda

講座

ツールを触って覚える 生成AI実践セミナー

文章作成から情報収集、資料の作成まで、日常業務で役立つ実践的な使い方を紹介します。個別相談受け付けあり。

講師 本藤太郎さん(市民交流センター副館長)

時 8月15日(金)・24日(日)13:30～15:30

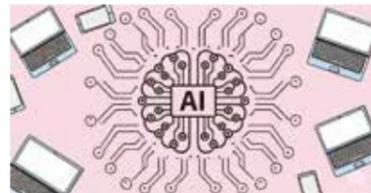
定 各先着30人程度 費 500円

場 申 8月1日9:00以降、①希望日②氏名(カタカナ)③

年代④電話番号・メールアドレスを、電話・ファクス・Eメール・申込フォームで、または市民交流センター窓口へ

*託児・手話通訳・要約筆記は、8月5日までに申し込み MAIL ac-center@

zushi-psc.org



募集

来年の大学就学へ向けて 給付型奨学金

国内外を問わずリーダーとして活躍したいという高い志を持ち、経済的理由により就学が難しい学生に、大学就学のための給付型奨学金を支給します。支給金額を前年度から増額しています。詳細は市ホームページの要項を確認してください。

募集人数 5人

支給金額 年額120万円

市内に1年以上在住し、2026年4月に大学就学を予定している人 *世帯収入や高校での成績など諸条件あり

申 8月4日～9月19日に、教育総務課へ

ID 1003732



講座

フェアトレード・ ユーストレーニング

フェアトレードを学び、活動することを望む人を対象に、ワークショップを交えた講座を行います。

時 8月16日(土)10:00～18:00、17日(日)10:00～17:00 (全2回) 場 市民交流センター

対 両日参加できる10～24歳の人 定 先着30人

申 8月1日～9日に、申込フォームで返子フェアトレードタウンの会へ

MAIL fttzushi.event@gmail.com



講座

バランスよい食事を 男性の健康料理教室

健康づくりに役立つ調理の基礎を学びます。包丁を持ったことがない人でも簡単な料理を作れるようになります。

時 9月12・19日、10月3・17・31日、11月7・14日、12月5日の(金)9:30～13:30 (全8回)

場 保健センター

対 市内在住の65歳以上の男性 *初めての人優先

定 先着12人 費 1回500円程度

申 8月4日以降、①教室名②住所③氏名(フリガナ)④

生年月日⑤電話番号を、電話・Eメールで、または国保健康課窓口へ MAIL kenkou@city.

zushi.lg.jp

ID 1008367



講座

働く女性を応援 テレワークスキルアップ

場所や時間にとらわれず、ライフステージにあった働き方ができるテレワーク。テレワークに必要な知識やスキルの習得を支援するセミナーを開催します。参加者や地域で活躍する女性との交流会あり。

時 9月11・18・25日、10月2・9・16日の(木)9:30～12:00 (全6回) 場 オンライン *9月11日・10月16日は返子会館(返子5-4-33)

対 市内在住の25～54歳の女性で、次の条件に当てはまる人①就業を検討・予定している②ネットワーク環境があり、パソコンを持っている

定 30人 *多数抽選

申 8月31日までに、申込フォー

ムで、セミナー事務局へ

問 企画課

ID 1013042



講座

世界遺産ってなんだ？ 地域の文化遺産を考える

返子・鎌倉・横浜にある文化遺産の価値と世界遺産登録に向けたプロセスを一緒に考えます。

講師 榊渕規彰さん(元鎌倉市文化財部長)

時 8月13日(水)・15日(金)9:30～11:30 (全2回)

場 市役所会議室

対 市内在住・在学の中学・高校生、市内在住・在勤の教職員 定 先着30人程度 *定員に満たない場合は、8月8日以降、市内在住・在勤の成人に申し込み枠を拡大。

詳細は市ホームページで確認してください。

申 8月1日8:30以降、①住所②氏名③電話番号を、電話・ファクス・Eメールで社会教育課へ

FAX 046-872-3115

MAIL syakaikyoku@city.

zushi.lg.jp

ID 1012978



国指定史跡名越切通内
まんだら堂やぐら群

慢性疾病の子どもについての講演会

医師や、小児慢性特定疾病等の病気を持つ当事者とその家族が、思春期や病気と上手く付き合うためのヒントを話します。

時 8月5日(水)10:00～12:00

対 小児慢性特定疾病等で、長期の療養が必要な子どもとその家族

場 申 鎌倉保健福祉事務所 TEL 0467-24-3900

広 告

広報ずしでは誌面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくは企画課へお問い合わせください。

くらしのガイド **ズームアップ**

キッズ

夏休みは親子で料理に挑戦

夏休み親子料理教室

①魚のさばき方を小坪の漁師さんに教わろう
 時 8月20日(木)10:00～13:00 費 1組1,500円 *8月18日12:00以降、キャンセル料発生

②「おうちごはん、一緒に作っていただきます!」
 時 8月21日(木)10:00～13:00 費 1組1,000円 *8月19日12:00以降、キャンセル料発生

共通 場 逗子小学校 対 小学生とその保護者(2人1組)
 定 ①先着6組②先着10組
 申 問 8月4日8:30以降、①希望の教室名②住所③親子の氏名④子どもの学年⑤電話番号⑥アレルギーがある人は食物名を、電話・ファクス・Eメールで社会教育課へ
 FAX 046-872-3115
 MAIL syakaikyoiiku@city.zushi.lg.jp ID 1012828

親子エコ・クッキング

講義や調理実習を通じて、家庭で実践できる環境に配慮した食事について学びます。
講師 東京ガス(株) エコ・クッキング ナビゲーター
 時 8月22日(金)10:45～13:30
 場 逗子小学校
 対 小学生とその保護者(2人1組) 定 先着8組
 申 問 8月4日8:30～10日に、申込フォームで、環境都市課へ
 *「エコ・クッキング」は東京ガス(株)の登録商標
 ID 1012918



キッズ

スマイル講座で新しい出会い

①合気道体験講座
 時 8月8日(金)10:00～12:00 対 年長～高校生 *年長は保護者同伴 持 動きやすい服装、水筒、タオル

②アマチュア無線交信体験講座
 時 8月28日(木)13:00～16:00 対 小学生～高校生

③茶道体験講座
 時 9月6・20日、10月11日、11月1日の出13:30～15:00 (全4回) 対 小学生～高校生 定 10人 費 1,200円

④Scratchを使ったプログラミング講座
 時 9月7日(日)10:00～12:00
 対 小学生 *初めての人優先 定 5人
 持 ノート型パソコン、電源
共通 対 市内在住者 場 申 問 ①②は申込不要、③④は多数抽選。③は8月7日～13日に、④は8月14日～20日に、申込フォームで、体験学習施設へ ID 1003041

講座

こども発達支援センターペアレントプログラム

0歳から6歳頃までの乳幼児の発達について、臨床心理士や理学療法士などの専門スタッフが話します。子育ての疑問や不安を解決しませんか。
 時 9月9日(火)・19日(金)・25日(木)10:00～12:00 (全3回)
 場 療育教育総合センター
 対 市内在住で乳幼児の子育てをしている、全ての回に参加できる人 定 先着10人
 申 問 8月1日～26日に、電話・ファクス・Eメールで、またはこども発達支援センター窓口へ TEL 046-872-6051 FAX 046-872-6052 MAIL hinata@city.zushi.lg.jp
 *託児(先着5人)・手話通訳・要約筆記は、8月19日までに申し込み
 ID 1002988



健診・教室

乳幼児健康診査

4か月児健診 時 8月12日(火)
 対 令和7年4月生
 お誕生日前健診 時 8月26日(火)
 対 令和6年9月生
 1歳6か月児健診 時 8月14日(木)
 対 令和6年2月生
 *受付時間は13:15～14:30です。詳細はSMSで案内します。
 3歳児健診 対 令和4年5月生
 *対象者には7月末までに個別案内を送付します。
 問 子育て支援課 ID 1002636

離乳食教室

時 8月19日(火)①離乳食初期10:00～11:30②離乳食中～後期13:15～14:45 場 保健センター
 対 ①生後5～6か月頃の子どもの保護者②離乳食中～後期の進め方に不安のある人
 定 先着①15人②10人
 申 問 8月18日までに、申込フォームで、または子育て支援課窓口へ
 ID 1002643

2歳児教室 どんぐり広場

時 8月22日(金) *時間は申込時に案内 場 保健センター
 対 2歳児とその保護者 定 先着15人
 申 問 8月20日までに、申込フォームで、子育て支援課へ
 ID 1002641



お知らせ

子育て支援センター

時(月)～(出)9:00～17:00
 休み12日～14日 *電話相談は可、11日、18日午後、30日
 巡回相談
 小坪ほっとスペース 時(火)10:00～15:00 休み12日、沼間ほっとスペース 時(金)10:00～15:00
 問 子育て支援センター ID 1002740

イベント

なつやすみ子ども工作教室

はらぺこあおむしに、ちぎり絵や折り紙で作ったごはんをあげよう。
 時 9月8日(月)まで 場 問 図書館

8月の図書館のおはなし会

おひざにだっこのおはなし会 時 2日(土)10:30～11:00
 対 2～3歳児とその保護者
 夏の小学生おはなし会 時 2日(土)14:00～14:40
 対 小学校低学年
 わらべうたであそぼう 時 21日(木)10:30～10:50
 対 0～1歳児とその保護者
 わんぱくおはなし会 時 21日(木)15:30～16:00
 対 4～6歳の子ども
 夏休みおはなし会 時 27日(火)～30日(土)10:30～11:00
共通 場 問 図書館

沼間・わらべうたであそぼう

時 8月7日(木)10:30～10:50
 場 問 図書館沼間分室
 問 問 図書館または沼間分室

こどもとのつきあい方講座

時 8月23日(土)14:00～15:30
 場 市役所会議室
 対 育児に不安・焦り・困難感がある人、育児を行う人の支援者など
 定 先着30人
 申 問 8月22日までに、電話で、または子育て支援課窓口へ
 ID 1010578

子どもの集団生活での困り事を語り合おう

集団生活での悩みや困り事について、専門職を交えて語り合い、解決のヒントを見つけませんか。
 時 8月25日(月)13:30～15:00
 場 市役所会議室
 対 年長～小学校2年生の子どもの保護者 定 先着10人
 申 問 8月22日までに、①住所②保護者の氏名③子どもの氏名④子どもの年齢⑤電話番号を、電話・Eメールで、または子育て支援課窓口へ
 MAIL kosodate@city.zushi.lg.jp
 *Eメールの場合、件名を「語り場申込」に ID 1008727



子育てポータルサイト「えがお」もチェック

ほっとスペースなどの開館時間や休館日、知っておきたい子育て関係の手続きや制度、イベント情報、子育て中のママたちによるレポート記事などを掲載しています。



身の回りの人々や地域の環境、そして自分自身を信じ認めて前向きに生きる市民に、このまちで生きる意味を聞きました。



逗子市消防団長

矢島 明 さん (沼間)

地域住民の有志で構成され、火災や台風などの災害時に出動する消防団。市内に9つある分団をまとめる消防団長の矢島さんは、入団から40年経つ消防団のエキスパートだ。

想像を超えた火災現場での活躍

父は消防団員だったが、自身は消防団に興味がなかったという矢島さん。ある日、火災発生と消防団招集を告げるサイレンが鳴り響いた。煙

誇りを持って地域の安全を守りたい

が上がる場所に知人宅があり、心配になって現場へ。そこで、裏側の崖からホースを引き上げて消火活動を行う消防団の活躍を目の当たりにした。普段とは違う、分団員の勇ましい姿に驚いたようだ。「手伝え！」とホースを渡された矢島さんも消火活動に参加。「現場を体験して消火の大変さを知った。火は消さないと燃え広がると実感しました」。

その後、消防団に入団しないかと声が掛かり、1985年4月、沼間地区の第3分団に入団した。

先輩から継承され、皆で磨く技術

入団後は、消火用ホースや消防車の使い方、敬礼や号令の掛け方など、先輩から基礎をたたき込まれた。「訓練後は、振り返りをしっかり行いました。皆、地元をよく知っているからこそ、消火活動などについて工夫しながら取り組める。面白いし、や

りがいいがあった」と振り返る。

2006年からは4年間、分団長を務めた。その中で、技術などを競う操法大会に第3分団が出場することに。「大会に向けた訓練では、一生懸命がゆえに口げんかが始まったり、分裂しそうになったり。団員それぞれの個性が強く、一つにまとめるのが大変で。大会当日は会場に着いただけで込み上げるものがあり、本番前の挨拶では安どと達成感から涙があふれ言葉にならなかった」と笑う。

自分の力を発揮できる場所

訓練や現場などで普段できない体験ができるのが消防団の良さ話す。「皆で目標に向け活動し、成し遂げた時の達成感はたまらない。一人一人が個性を生かし、自分の力を発揮できる場所。それが消防団です」。

*18ページに消防団員募集について掲載しています。

現場第一主義

市長だより vol.77

昭和20年に終戦を迎えてから80年が経過します。戦争を知らない世代が大多数である今、改めて戦争の悲惨さを学び、戦争とは何かを考えなければと強く思います。

世界においては各地で紛争が起こっており、その様子が毎日のように報道されています。いまだに戦争が無くならず、争いを繰り返す現実が無念でなりません。紛争が起こっている地域において、いつ攻撃されるかわからない、常に恐怖と背中合わせの暮らしはどれだけつらいことでしょうか。ましてや最愛の家族が犠牲になること

は到底受け入れられません。

日本では、戦争当時の体験を語れる方々がご高齢になり、語ることも行動することも難しくなっています。今を生きる戦争の体験者から可能な限り生の声をお聞かせいただき、終戦から80年の今年を次の世代へとつないでいく重要な機会とするべきだと考えます。平和の尊さを再認識することで、過去の惨禍を繰り返さない平和な未来を築けることでしょう。

改めて戦争での苦難に思いをはせ、そしてこれからの世界の恒久平和が一日も早く実現することを強く願っています。

逗子市長 桐ヶ谷 覚